

定員
50名

受講料
1,000円

Aコース [発展編]

HA-3:植物栽培管理のための高度データ活用 -データ解析・モデリング・予測-

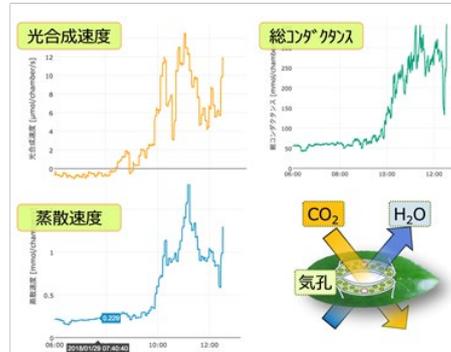
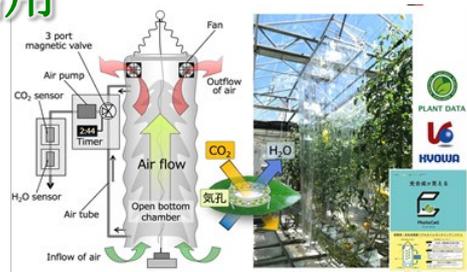
オンライン開講

zoomを使用したリアルタイム講義で
どなたでも・どこでも ライブで授業に参加できます！
※録画した物を後日オンデマンドで聴講可能(参加登録者限定・期間
限定。申込期間内に受付された方のみ対応。)

【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会
【事務局】 愛媛大学植物工場研究センター
【概要】 温室や太陽光植物工場において、環境を調節しながら作物生産を行う際に必要となる基礎知識（環境要因とその調節、植物の環境応答）、植物の生育状態の把握方法（手計測から植物診断味`ットまで）、コンピュータやセンサーを用いた情報化、食品の安全安心などについて、愛媛大学植物工場研究センターの教員が一般の方々を対象に分かりやすく説明します。Aコース発展編では、Aコース基礎編では取り扱わない発展的な内容についても講義を行います。

2022.8/26 [金] 13:00~16:10
(受付開始12:50~)

講師	科目・内容
13:00~14:30 14:40~16:10	光合成の最大化は施設園芸における昼間の環境制御の主目的となっています。愛媛大学植物工場研究センターが開発した光合成計測チャンバは、生産現場において作物個体を対象とした光合成（蒸散）のリアルタイムモニタリングを可能にし、光合成最大化のための環境制御戦略策定ツールとしての活用が拡大しつつあります。本講義では、光合成計測チャンバの仕組み、生産現場への導入・設置方法、取得されるデータの概要、得られたデータを用いた栽培管理戦略の策定方法などについて、事例（生産現場で得られたデータ：トマト、キュウリ、イチゴ、スプレームなど）を引用しながら概説します。
高山 弘太郎 愛媛大学 豊橋技術科学大学	



解析対象期間の日積算日射量と日積算光合成量の変化



申込方法 締切：8/24(水)正午

- ・参加申込フォームより、お申し込みください。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。
- ・オンデマンド配信ではGoogleのサービスを利用いたします。オンデマンド配信を希望される場合は申込み時にGoogleアカウントが必要となります。ご不明な点は、最下段の問い合わせ先までご連絡ください。

参加申込みフォーム

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyuha/mpmailec/form.cgi>



zoomを初めてご利用になる方へ

ネットワーク環境によりzoomへ接続できない場合がございます。zoom公式サイトにて無料で接続テストがお試し頂けます。ご受講までに接続テスト（動作確認）をしていただく事を強くおすすめいたします。 <https://zoom.us/test>

《問い合わせ》

愛媛大学植物工場研究センター 松山市樽味3-5-7 (089-946-9901)
事務担当：神野・間宮 E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

愛媛大学 植物工場

